

本製品は JEITA コードカラーに対応しています。

車への取り付けは、必ずこの取付説明書と別冊の「安全上のご注意」に従って正しく行ってください。指定以外の取り付け方法や指定以外の部品を使用すると、事故やケガの原因となる場合があります。この場合は、当社では一切の責任を負いかねます。

販売店様へ

接続、取り付け作業が完了しましたら、この取付説明書はお客様へお渡しください。

別売製品の接続および取り付けについては、別売製品に付属の説明書も合わせてご覧ください。



PRINTED WITH
SOY INK

この説明書の印刷には、植物性大豆油インキを使用しています。

パイオニア株式会社

〒153-8654 東京都目黒区目黒 1-4-1

この説明書は、再生紙を使用しています。

© パイオニア株式会社 2003

< KNKZF/03C0000 > < CRA3487-A >

作業の進めかた

① はじめに

接続・取り付け部品を確認する — 2ページ

製品の配置例 ————— 4ページ

② 接続のしかた

接続の前に知ってほしいこと ——— 5ページ

接続端子のなまえと働き ————— 7ページ

システムの接続 ————— 8ページ

電源コードの接続 ————— 10ページ

ナビゲーションの接続 ————— 12ページ

* 「AVIC-H9」「AVIC-H99」「AVIC-H09」「AVIC-

H07」ナビゲーションの『取付説明書』

参照

IP-BUSメインユニットとの接続 - 13ページ

映像/音声入力の接続 ————— 14ページ

5.1ch対応・DSPユニットとの接続— 15ページ

③ 取り付けかた

取り付けの前に知ってほしいこと — 16ページ

TVチューナーの取り付け ——— 17ページ

TVモニターの取り付け ——— 18ページ

TVアンテナの取り付け ——— 22ページ

④ 接続・取り付けが終わったら

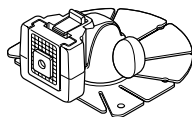
動作を確認する ————— 32ページ

接続・取り付け部品を確認する

TVモニター関係



TVモニター × 1



TVモニター
取付金具 × 1



スペーサー × 2

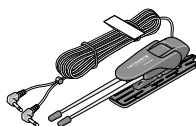


タッピングネジ
(4 × 12 mm) × 5

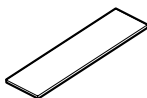


六角レンチ (3 mm)
× 1

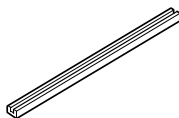
TVアンテナ関係



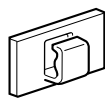
TVアンテナ
右用・左用 各 1



塗装保護シート × 2



コードレール × 4



クランパー × 6



ガラス
クリーナー剤 × 1



クロス × 1



エレメント固定
ホルダー × 4

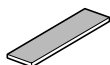


六角レンチ (2.5 mm)
× 1

TVチューナー関係



TVチューナー × 1

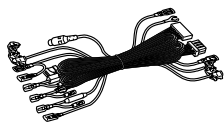


マジックテープ
(やわらかい方) × 2

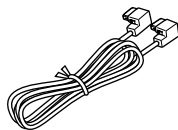


マジックテープ
(かたい方) × 2

コード関係



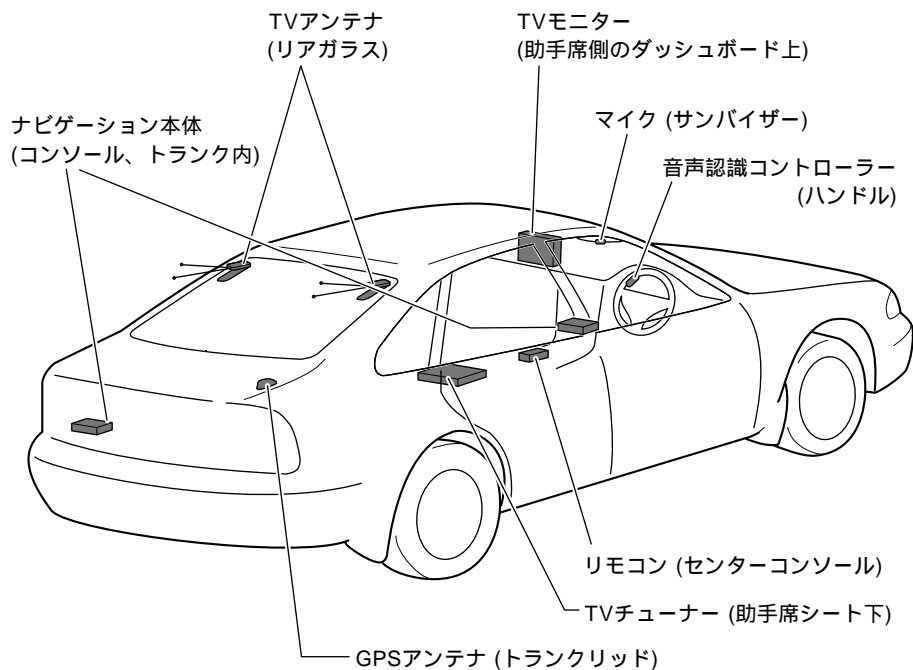
集中電源コード × 1



26ピンRGBケーブル × 1

製品の配置例

下図は、ナビゲーションなどの別売製品を組み合わせたときのシステム全体の配置例です。実際は、組み合わせた製品とご自分のお車に合わせて、製品を配置してください。



メモ

配置場所や車種によっては、別売の取付キットが必要になることがあります。

接続の前に知ってほしいこと

接続上のご注意

本機と他の製品では同じ働きのコードでも色が異なる場合があります。本機と他の製品とを接続される場合、それぞれの製品に付属の取付説明書をよくお読みになり、同じ働きのコードどうしを接続してください。

赤リード線（アクセサリ電源）は、常にバッテリーから電源が供給される電源回路には接続しないでください。接続すると車のバッテリーが消耗してしまいます。

若草色リード線（パーキングブレーキスイッチ）は、必ずパーキングブレーキスイッチの電源側に接続してください。接続しないと一部の機能が使用できなくなります。

必ず付属の部品を指定通りに使用してください。指定以外の部品を使用すると故障などの恐れがあります。

接続のポイント

26ピンRGBおよび音声出力（IP-BUS形状）の接続について

26ピンRGBおよび音声出力（IP-BUS形状）の端子とケーブルは、同じ色どうしを接続してください。（コネクターの接続部分が色分けされています。）違う色のコネク터를接続すると、正常に動作しないことがあります。

電源配線キットを別売しています

システム全体の消費電流が大きくなると、電圧が不足する場合があります。そのようなときは、バッテリーから直接電源をお取りください。当社では、電源配線キット「RD-221」を別売していますので、販売店にご相談ください。

ノイズ防止のために

ノイズ防止のため、TVアンテナおよびアンテナコードは、下記の物からできるだけ離して配置してください。アンテナやアンテナコードにノイズが飛び込むと受信感度が悪くなります。

- * FMトランスミッター送信用アンテナ
- * ラジオ/FM多重用アンテナおよびアンテナコード
- * RGBケーブル
- * 電源コード
- * 車両のコードおよび機器類
- * ナビゲーション本体
- * GPSアンテナ

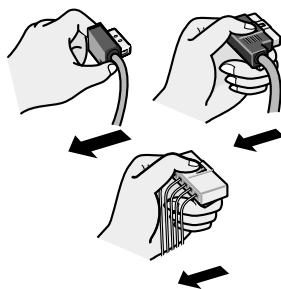
それぞれのコードどうしもできるだけ離してください。一緒に束ねたり、重ねたり、交差させたりしないでください。

接続のしかた

コネクター着脱のしかた

コネクターは、“カチッ”と音がするまで押し込んで、確実に接続してください。スムーズに入らない場合は、色が間違っている可能性がありますので、コネクターどうしの色を確認してください。また、無理に挿入しないでください。故障の原因となる場合があります。

コネクターを外すときは、図のようにコネクター部分を持ってロックを押しながらかき上げてください。コードを引っ張るとコードが抜けてしまうことがあります。



接続の前に知ってほしいこと

つづき

付属の電源コードに関するご注意

付属の電源コードは、HDDナビゲーション「AVIC-H9」「AVIC-H99」「AVIC-H09」「AVIC-H07」の電源が同時にとれる集中電源コードです。これらのHDDナビゲーションと組み合わせない場合は、次のリード線やコネクターはどこにも接続しないでください。(ショート防止のため、端子やコネクターが、車の金属部に触れないようにしてください。)

- * GPSナビゲーションシステム用コネクター
- * 車速信号入力 (ピンク) リード線
- * バック信号入力 (紫/白) リード線
- * オートアンテナリモートコントロール (青/黒) リード線
- * ミュート (黄/黒) リード線

組み合わせる機器について

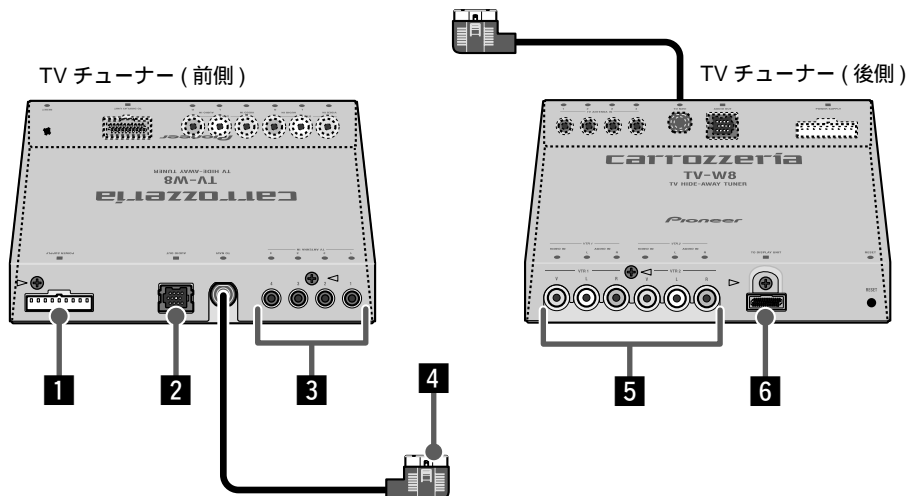
パイオニア製のHDDナビゲーションと組み合わせる場合は

「AVIC-H9」の『取付説明書』に本機と組み合わせる場合の接続図が記載されています。「AVIC-H09」「AVIC-H07」「AVIC-H99」の場合は、『取付説明書』の「TV-W08」または「TV-W88」と同じ方法で接続してください。

メモ

その他の製品と組み合わせる場合は販売店にご相談ください。

接続端子のなまえと働き



1 電源

付属の電源コードのTVチューナー用のコネクターを接続します。
また、集中電源コードのTVチューナー用から出ているリアモニター出力を使用してリアモニターを接続します。

2 音声出力 (黒)

本機の音声信号が出力されます。パイオニア製のAUX入力付きIP-BUSメインユニットをお使いの場合、メインユニットのIP-BUS入力 (青) と接続してください。メインユニットのAUX (外部機器) の設定をONにして、ソースをAUXにすると、本機の音声を車両のスピーカーで聞くことができます。(ナビゲーションの音声案内や操作音は、聞くことができません。)

3 TVアンテナ接続端子 1 ~ 4

付属のTVアンテナを接続します。1から順に接続してください。

4 TVモニター接続端子 (橙)

付属のTVモニターを接続します。

5 映像入力 (黄)/音声入力 (白・赤)

RCA出力付きポータブルビデオ、バックカメラなどを接続することができます。また、RGB出力のないナビゲーションシステムと組み合わせるときは、ここに接続します。
バックカメラはVTR1のみ接続することができます。

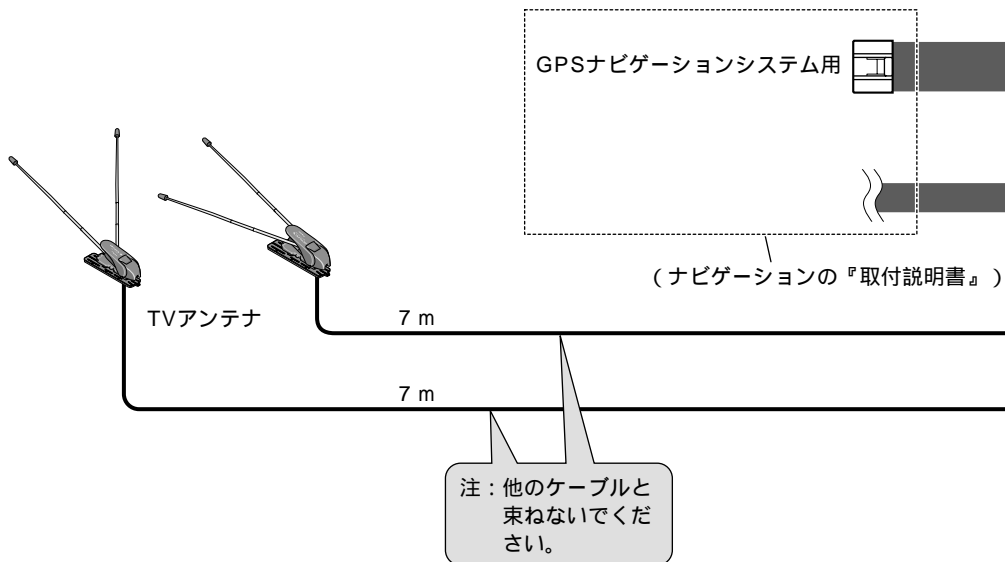
6 26ピンRGB入力 (黄)

付属の26ピンRGBケーブルでパイオニア製の26ピンRGB出力付きのHDDナビゲーションのRGB出力と接続します。

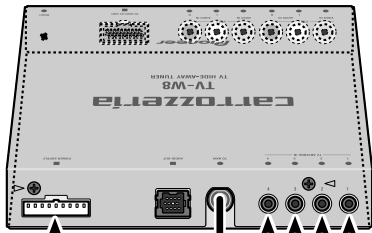
システムの接続

詳しくはお買い上げの販売店にお問い合わせください

TVモニター



TVチューナー



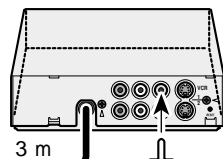
リアモニター出力 (黄)
 リアモニター (後部座席専用モニター) 用の映像信号が出力されます(ナビゲーションの映像は出力されません)。後部座席に設置するモニターのビデオ入力端子と接続してください。それ以外は何も接続しないでください。

注：この端子に接続したモニターは、運転者が走行中に映像を見ることができない位置に設置してください。

8.0型液晶ワイドモニター「TVM-W8000」(別売)



白



3 m

TVチューナー用

16 cm

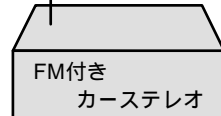
市販のRCAビデオコード(黄)

FMトランスミッター機能を使用して、音声を車両のFM付きカーステレオに送信できます。

1.4 m

青/ピンク

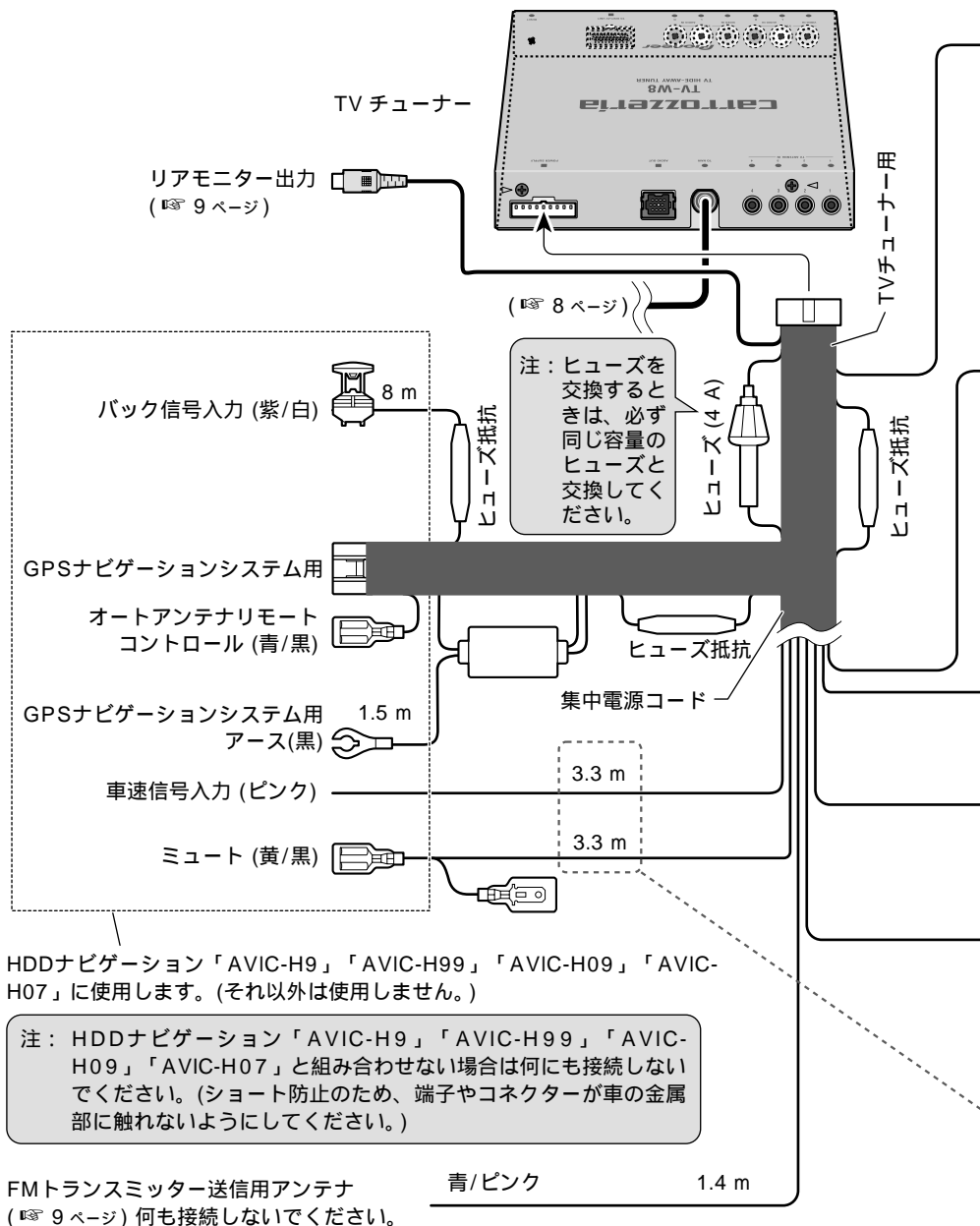
FM電波



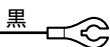
FMトランスミッター送信用アンテナ
 何も接続しないでください。(カーステレオのFM電波の受信状態が良くなる場所へ引き回してください。また、できるだけTVアンテナおよびアンテナケーブルから離してください。)

電源コードの接続

詳しくはお買い上げの販売店にお問い合わせください



1.5 m



TVチューナー用アース(黒)

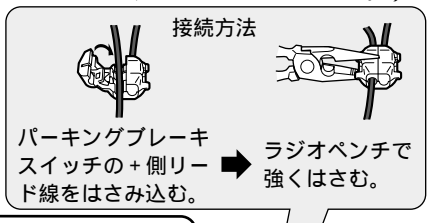
車のボディの金属部に確実に接続してください。
(HDDナビゲーションと組み合わせる場合、必ずGPSナビゲーションシステム用アースとTVチューナー用アースの両方を接続してください。片方の接続だけでは、故障の原因となります。)

パーキングブレーキスイッチの位置は、車種によって異なります。詳しくは、お買い上げの販売店にご相談ください。

パーキングブレーキスイッチ

車が停車していることを確認するために使用します。必ずパーキングブレーキスイッチの+側リード線に接続してください。

若草色



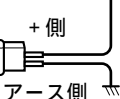
接続方法

パーキングブレーキスイッチの+側リード線をはさみ込む。

ラジオペンチで強くはさむ。

3.3 m

パーキングブレーキスイッチ



ヒューズ (0.5 A)

赤

3.3 m

注：ヒューズを交換するときは、必ず同じ容量のヒューズと交換してください。

アクセサリ電源

車のエンジンスイッチをACCポジションにしたときに、電源が供給される電源回路に接続してください。

ヒューズ抵抗

橙/白

3.3 m

イルミ電源

HDDナビゲーション「AVIC-H9」「AVIC-H99」「AVIC-H09」または「AVIC-H07」と組み合わせた場合に使用します。車のライトをONにしたときに、電源が供給される電源回路(時計の照明回路やモールランプ回路など)に接続してください。

ヒューズ (7.5 A)

黄

3.3 m

注：ヒューズを交換するときは、必ず同じ容量のヒューズと交換してください。

+バッテリー電源

車のエンジンスイッチのON/OFFに関係なく、常にバッテリーから電源が供給される電源回路に接続してください。

注：電源リード線の、ヒューズから本体、およびヒューズ抵抗から本体の間に、他の機器のリード線を接続しないでください。

TVチューナー側からの長さです。

注：赤、橙/白、黄リード線は車のヒューズユニットを通した後の端子に接続してください。

接続のしかた

ナビゲーションの接続

詳しくはお買い上げの販売店にお問い合わせください

組み合わせる機器について

パイオニア製のHDDナビゲーションと組み合わせる場合は

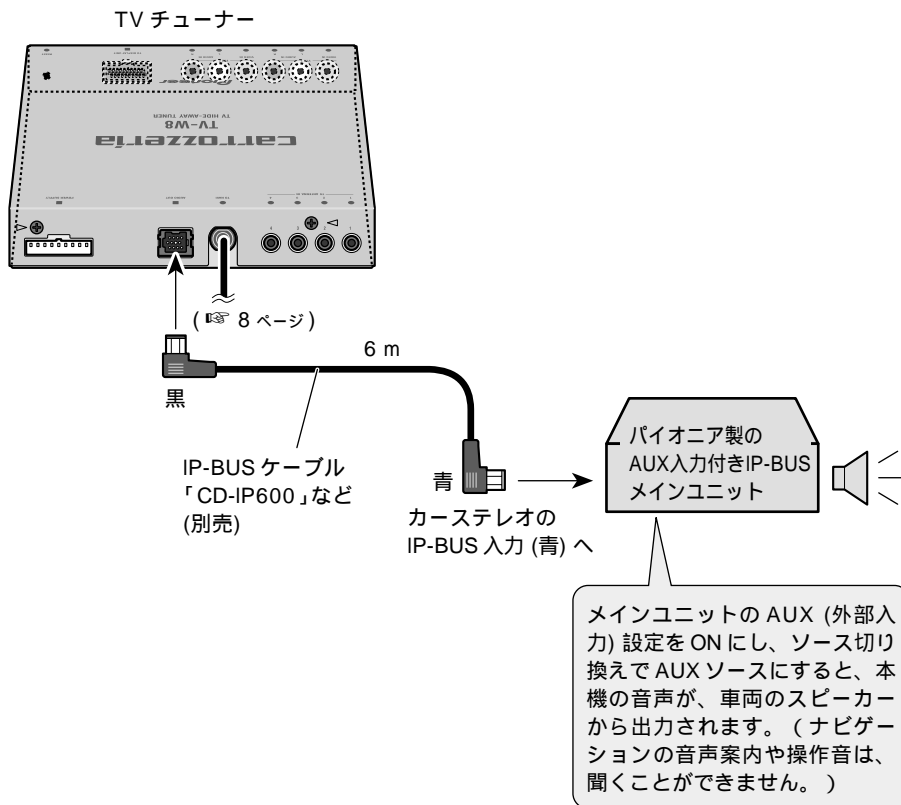
「AVIC-H9」の『取付説明書』に本機と組み合わせる場合の接続図が記載されています。「AVIC-H09」「AVIC-H07」「AVIC-H99」の場合は、『取付説明書』の「TV-W08」または「TV-W88」と同じ方法で接続してください。

メモ

その他の製品と組み合わせる場合は販売店にご相談ください。

IP-BUS メインユニットとの接続

パイオニア製のIP-BUS入力付きのメインユニットと組み合わせると、本機の音声を車両のスピーカーから出力することができます。
(この場合、本機のFMトランスミッター機能は使用しません。)

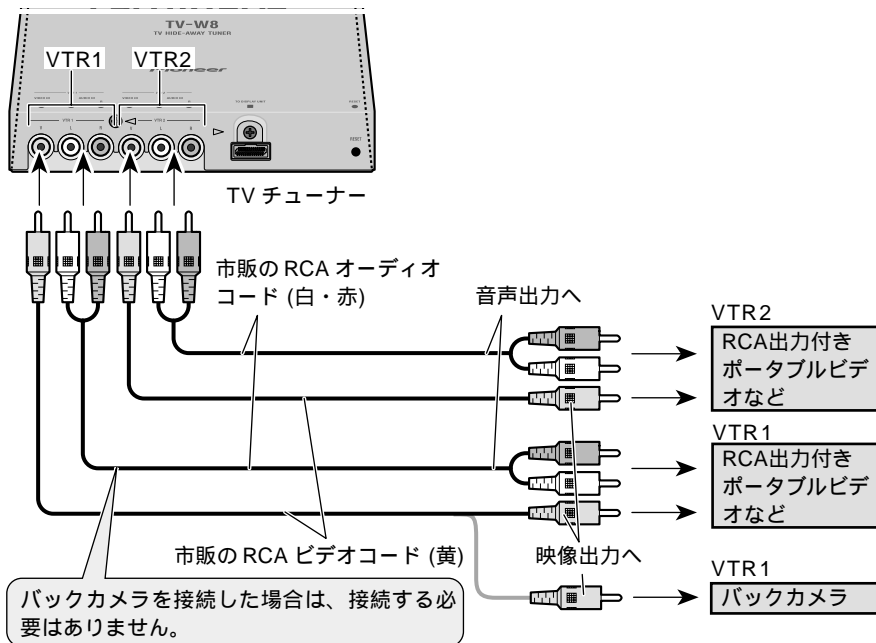


映像/音声入力接続

RCA出力付きポータブルビデオ、バックカメラなどを接続すると、その映像や音声を楽しむことができます。

RCAビデオ/オーディオ入力に接続したときは、VTRの設定をONにしてください。ONにすると、接続した製品の映像や音声に切り換わるようになります。(『取扱説明書』)

「AVIC-H9」または、「AVIC-H99」「AVIC-H09」、「AVIC-H07」を「HDDナビゲーションマップVol.2」以降にバージョンアップさせたナビゲーションと組み合わせる場合は、バックカメラをVTR1のみ接続することができ、シフトレバーをリバースの位置にすると後方の映像を表示させることができます。接続したときは、**VTR1** を **Back Camera** にしてください。(『取扱説明書』)



メモ

接続する製品の端子の形状に合わせて、各種変換コードをお使いください。

接続するときは、本機および接続する製品の電源をOFFにしてから接続してください。

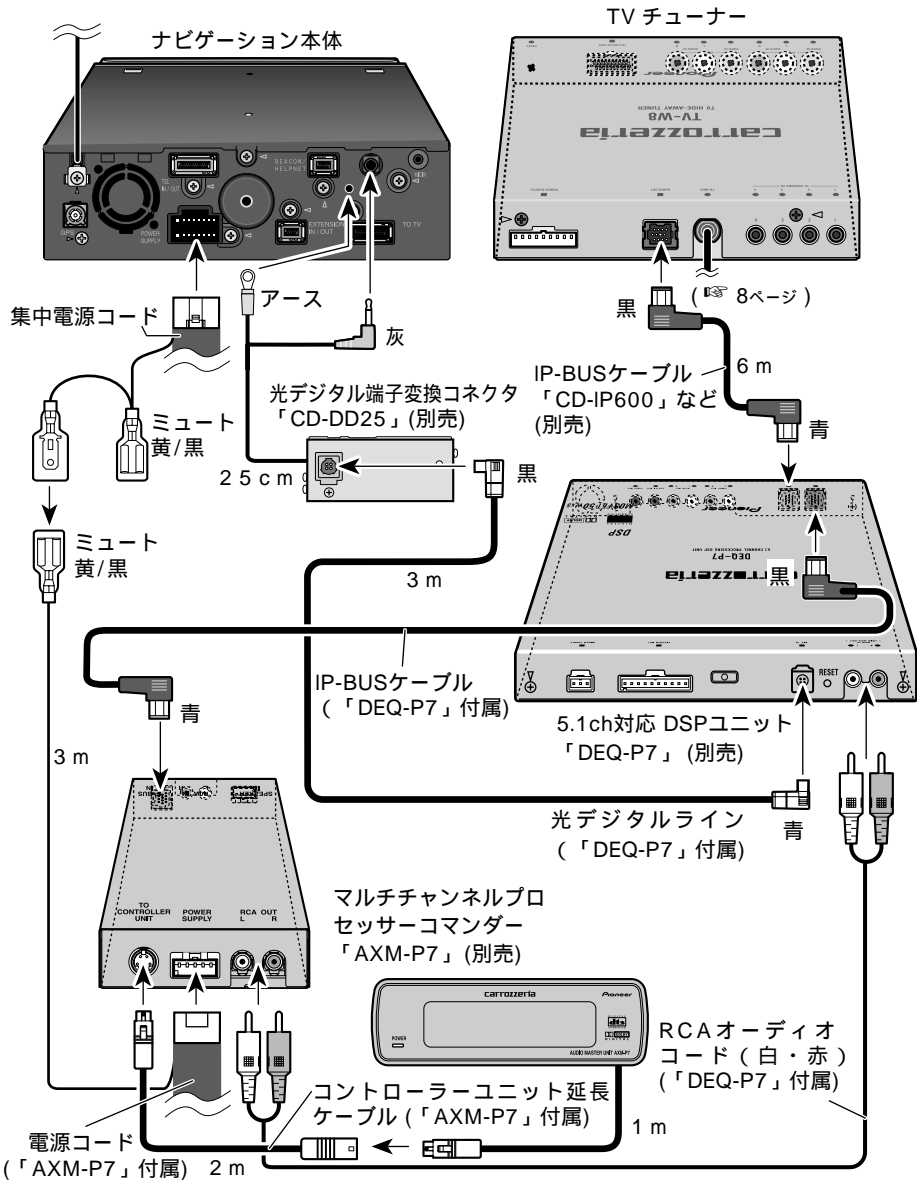
接続する製品の音声モノラル出力の場合は、音声入力のL側(白)とR側(赤)に接続できるように、市販の変換ケーブルをご使用ください。

バックカメラを接続する場合は、必ずバック信号入力も接続してください。接続しないとバックカメラ映像に切り換わりません。バックカメラはナビゲーションの3Dハイブリッドセンサーの初期学習が終了していないと切り換わりません。

5.1ch対応・DSPユニットとの接続

パイオニア製の5.1ch対応・DSPユニット「DEQ-P7」と組み合わせると、5.1チャンネルで収録された映画/音楽のDVDを臨場感豊かに再現することができます。

パイオニア製の5.1ch対応・DSPユニット「DEQ-P7」と組み合わせる場合は、マルチチャンネルプロセッサ・コマンドー「AXM-P7」にてDSPユニットをコントロールする必要があります。

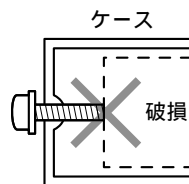


取り付けかた

取り付けの前に知ってほしいこと

取り付け上のご注意

必ず本機および取付キットに付属の部品を指定通りに使用してください。指定以外の部品を使用すると、機器内部の部品をいためたり、しっかりと固定できず以外れたりして危険です。



取り付けのポイント

取り付け、固定する前に

まず仮接続を行い、本機が正常に動作することを確認してから、取り付けを行ってください。正常に動作しない場合は、接続に間違いがないか、もう一度チェックしてください。

粘着テープを貼り付ける前に

マジックテープや両面テープを貼り付けるところは、汚れをよくふきとってください

ノイズ防止のために

TVアンテナの取り付けのしかたによっては、ラジオ放送に雑音が入る場合があります。TVアンテナは、TVアンテナの取り付け(22ページ)の説明に従って正しく取り付けてください。

FMトランスミッター用送信アンテナ(青/ピンク)をご使用の場合、FMトランスミッター用送信アンテナ(青/ピンク)の引き直しによっては、雑音や感度が悪くなる場合があります。その場合、FMトランスミッター用送信アンテナ(青/ピンク)を引き直してください。

ノイズ防止の為、TVアンテナおよびアンテナコードは、下記の物からできるだけ離して配置してください。アンテナやアンテナコードにノイズが飛び込むと受信感度が悪くなります。

- * FMトランスミッター送信用アンテナ
- * ラジオ/FM多重用アンテナおよびアンテナコード
- * RGBケーブル
- * 電源コード
- * 車両のコードおよび機器類
- * ナビゲーション本体
- * GPSアンテナ

それぞれのコードどうしもできるだけ離してください。一緒に束ねたり、重ねたり、交差させたりしないでください。

TVチューナーの取り付け

取り付け上のご注意

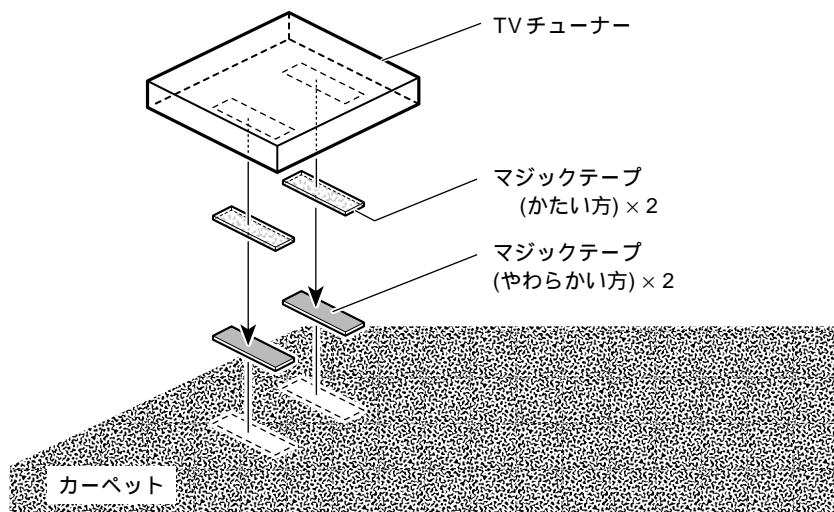
次のような場所には絶対に取り付けしないでください。高温により故障する恐れがあります。

- * ダッシュボードやリアトレイの上のように、直射日光の当る場所。
- * ヒーターの吹き出し口の近く。

ドア近くの雨水がかかりやすい場所には取り付けしないでください。

フロントシートの下に取り付けるときは、シートのスライドに支障がないように取り付けてください。

付属のマジックテープ（かたい方）をTVチューナーの底面に、マジックテープ（やわらかい方）を取り付け場所に貼り付けます。



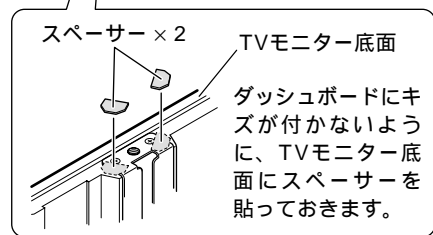
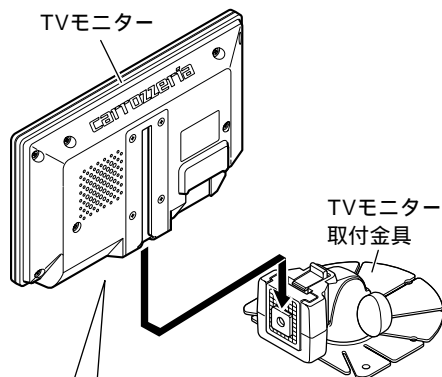
メモ

マジックテープ（かたい方）がカーペットにくっつく場合は、カーペットに直接取り付けることもできます。この場合、マジックテープ（やわらかい方）は使用しません。

TV モニターの取り付け

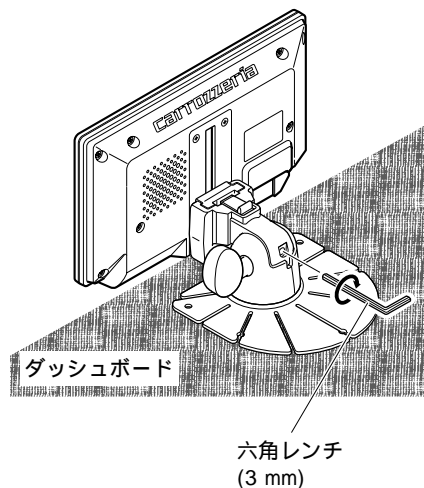
ダッシュボードの上に置いたTVモニターを、取付金具で固定します。

1 TVモニターに取付金具を取り付ける



2 ネジを締めて、いったん固定する

取付金具の後ろにある穴から、六角レンチの長い方を差し込み、TVモニターが固定されるまで回して締めます。



⚠ 警告

エアバッグ装着車に取り付ける場合は、エアバッグのカバー部分および作動時の妨げになるような場所には絶対に取り付けしないでください。エアバッグが正常に動作しなかったり、動作したエアバッグでモニターが飛ばされ、事故やけがの原因となります。

⚠ 注意

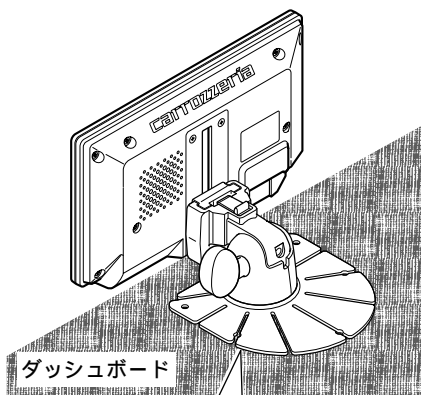
エアバッグ装着車に取り付ける場合は、車両メーカーに作業上の注意事項を確認してから作業を行ってください。エアバッグが誤動作する原因となることがあります。

3 TVモニターを取り付ける位置を決める

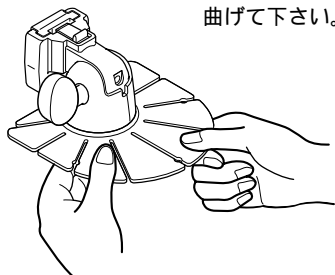
TVモニター取付金具の裏側の保護シートをはがさずダッシュボードに当て、TVモニターを取り付ける位置を決めます。

次の場所を選んでください。

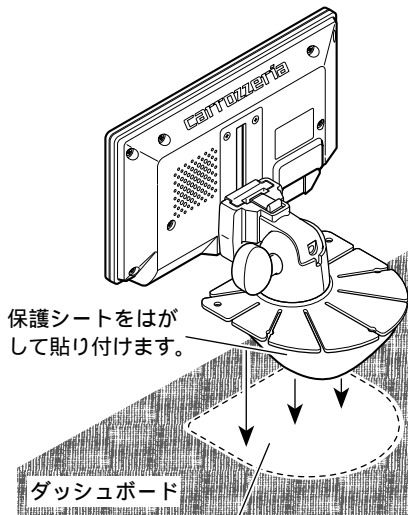
- * 運転の妨げにならない場所。
- * エアバッグなど車の安全装置の妨げにならない場所。
- * TVモニターを傾けてもフロントガラスに当たらない場所。
- * TVモニターの底面がダッシュボードに当たる場所。



ダッシュボードの形状に合うように、曲げて下さい。



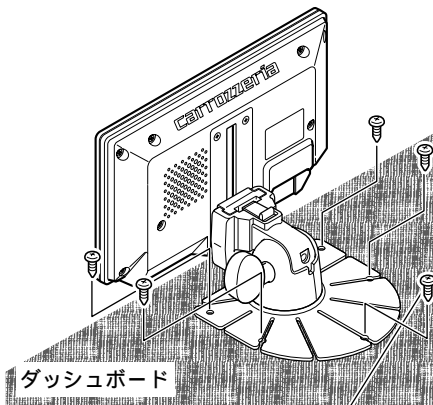
4 TVモニターをダッシュボードに貼り付ける



TVモニターを貼り付ける場所の湿気、ホコリ、汚れ、油などを取り除いてください。

5 タッピングネジで固定する

タッピングネジで、TVモニター取付金具をダッシュボードにしっかりと固定します。



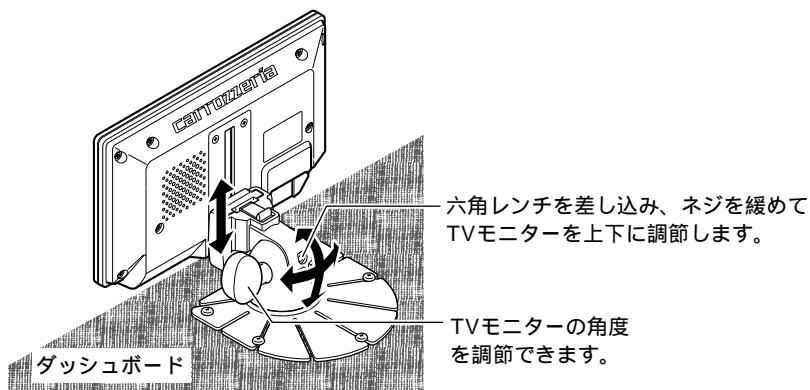
タッピングネジ
(4 × 12 mm) × 5

TV モニターの取り付け

つぎ

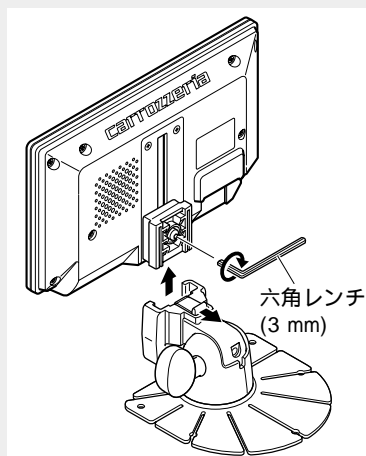
6 TVモニターがダッシュボードに当たるように調節する

TVモニターを安定させるため、TVモニターの底面がダッシュボードに当たるように (TVモニターをダッシュボードの上に置くように)、上下の高さを調節してください。また、TVモニターを見やすい角度に調節してください。



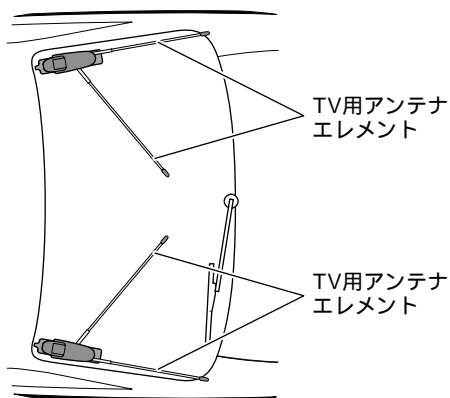
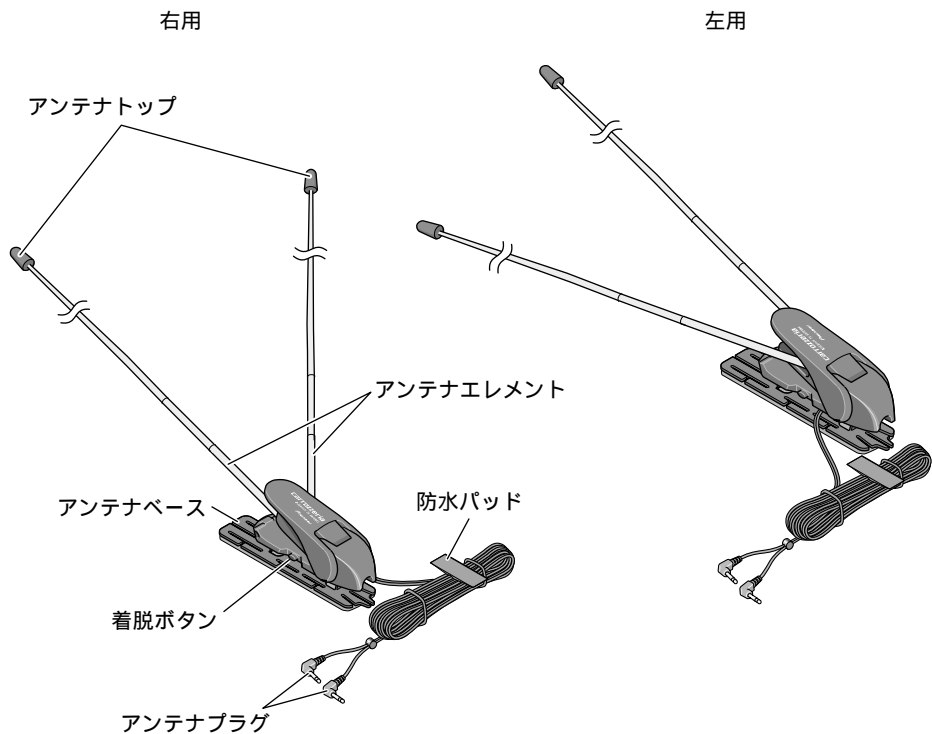
モニターをしっかりと固定するには

緩めたネジは、調節後しっかりと締め直してください。六角レンチで締めても緩く感じる場合は、次のようにいったん取付金具からデタッチ部分を取り外し、中のネジを六角レンチで締めてください。



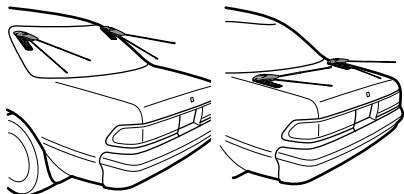
TV アンテナの取り付け

各部のなまえ

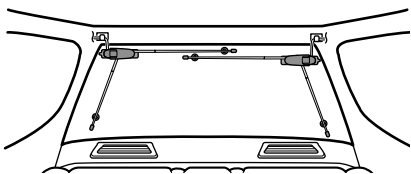


取り付け場所について

アンテナを車室外に取り付けるときは、リアガラスまたはトランクリッドに両面テープで貼り付けます。



アンテナを車室内に取り付けるときは、リアガラスに両面テープで貼り付けます。



ガラスアンテナや熱線の上には絶対に取り付けしないでください。

アンテナのエレメントが車幅からはみ出ない場所、また、車の後端より後にはみ出ない場所に取り付けてください。なお、1ボックスカーや2ボックスカーの車室外のリアガラスには、絶対に貼り付けしないでください。



取り付け上のご注意

アンテナは確実に貼り付け、固定してください。確実に固定しないと、走行中に外れたりする危険性があります。

ガラス面に取り付けるときは、必ず付属のクリーナー剤で、貼り付ける場所の湿気、ホコリ、汚れ、油などを取り除き、乾いたあとにきれいな布でふき取ってください。湿気、油などがあると、接着力が弱くなり、はがれやすくなります。

車のボディに取り付けるときは、塗装保護シートを必ず使用してください。使用しないと車のボディの塗装をはがす原因となることがあります。

確実に貼り付けるため、取り付けは天気の良い日中に行ってください。雨や霧の日など湿気の多いときに取り付けると、接着力が弱くなり、はがれやすくなります。気温が低いときにガラス面に取り付けるときは、接着力の低下を防ぐため、両面テープの接着面と取り付け場所を、車内ヒーターやリアデフォグスイッチをONにして暖めておいてください。(20 以上)

リアガラスアンテナ車の場合は、トランクリッドに取り付けてください。(リアガラスに取り付けた場合、本機の電源を入れたままカーステレオでラジオ放送を受信すると、ラジオ放送に雑音が入る場合があります。)

両面テープの接着面は、指で触ったり、貼り直したりしないでください。接着力が弱くなり、はがれやすくなります。

取り付け後、24時間以内は絶対に水気(水、雨、霧、雪など)に当たらないでください。また、高速走行など、アンテナに無理な力が加わるようなことはしないでください。

ナビゲーションと組み合わせる場合のご注意
ナビゲーションに付属している『取付説明書』もあわせてご覧ください。

TV アンテナの取り付け

つづき

リアガラスに取り付ける場合

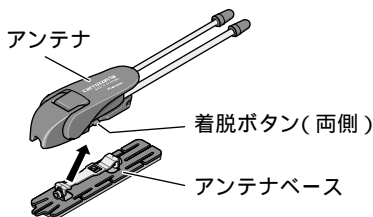
取り付け上のご注意

トランクを開けたときに、トランクがアンテナの元素に当たらない位置（できるだけ高い位置）に取り付けてください。

リアワイパーの可動範囲を確認し、リアワイパーの可動範囲内には絶対に取り付けないでください。

1 アンテナを外す

着脱ボタンを押し、アンテナをアンテナベースから取り外します。（P.31 ページ）



2 アンテナを貼り付ける位置を決める

アンテナベースを裏側の保護シートをはがさずにガラス面に当て、アンテナベースとガラス面との間にできるだけすき間のできない位置をさがします。



3 ガラスクリーナー剤で、汚れ、油などを取り除く

- 1 付属のガラスクリーナー剤を、付属のクロスに付け、少し力を入れて拭きます。
- 2 クリーナー剤が白く乾いたら、水で洗い流します。
- 3きれいな乾いた布でから拭きし、水分を完全に取り除きます。

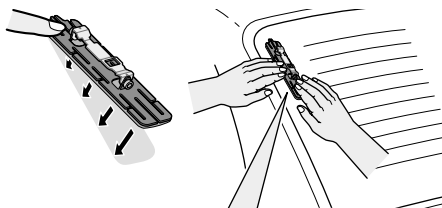


4 気温が低いときはリアガラスを暖める

接着力の低下を防ぐために、車内ヒーターやリアデフォグスイッチをONにして、リアガラスを 20 以上に暖めます。

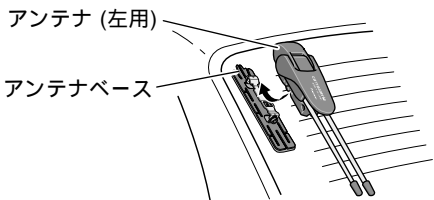
5 アンテナベースをリアガラスに貼り付ける

裏面の保護シートをはがし、先端から徐々に貼り付けます。



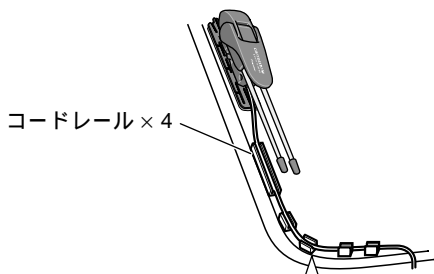
リアガラスに密着するように、指で強く押しつけてください。(貼り付けた後、空気が入っていないか車内から確認し、空気が入っていたらさらに強く押しつけてください。)

6 アンテナを取り付ける (※ 31ページ)

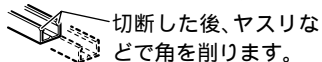


7 アンテナコードを固定する

付属のコードレールをリアガラスに貼り付け、コードを固定します。



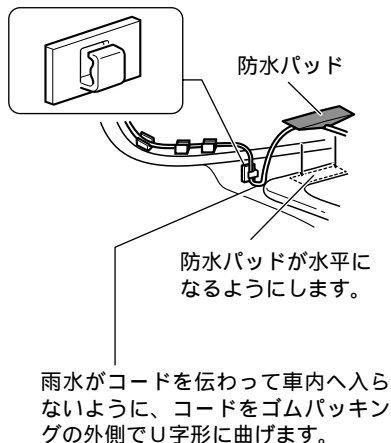
カッターなどで必要な長さに切断します。



8 アンテナコードを車内に引き込む

付属のクランパーでコードを固定します。

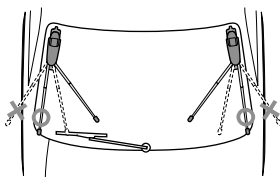
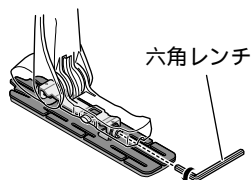
クランパー × 6
クランパー で要所を固定しながら、アンテナコードを引き回します。



取り付けかた

アンテナの取り付け角度の調節のしかた

アンテナエレメントをのばしたときに、エレメントが車幅からはみ出る場合は、アンテナベースの前後2本の六角穴付きネジをゆるめて、車幅からはみ出ないように取り付け角度を調節してください。



ゆるめたネジは、調節後しっかりと締め直してください。

TV アンテナの取り付け

つづき

トランクリッド(車室外)に取り付ける場合

取り付け上のご注意

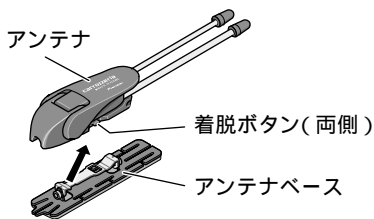
TVアンテナが脱落する危険があるので、フッ素樹脂加工および再塗装された車のボディには貼れません。

トランクを開けたときに、アンテナのエレメントがリアガラスなどに当たらない位置に取り付けてください。

1 アンテナを外す

着脱ボタンを押し、アンテナをアンテナベースから取り外します。

(P.31 ページ)



2 汚れ、油などを取り除く

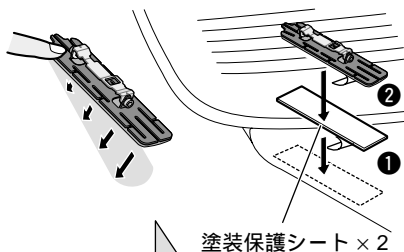
アンテナを貼り付ける場所の湿気、ホコリ、汚れ、油などを取り除いてください。



付属のガラスクリーナー剤は、塗装をはがすことがありますので車のボディには使用しないでください。

3 アンテナベースをトランクリッドに貼り付ける

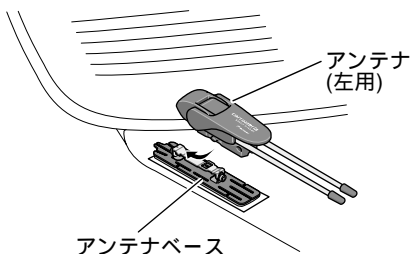
- ① 塗装保護シートをトランクリッドに貼り付けます。
- ② 塗装保護シートにアンテナベースを貼り付けます。



トランクリッドに密着するように、指で強く押しつけてください。

塗装保護シートを必ず使用してください。使用しないと車のボディの塗装をはがす原因となることがあります。

4 アンテナを取り付ける (P.31 ページ)

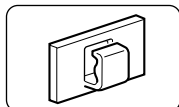
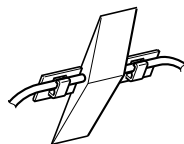


5 アンテナコードを 車内に引き込む

付属のクランパーで防水パッドとコードを固定します。

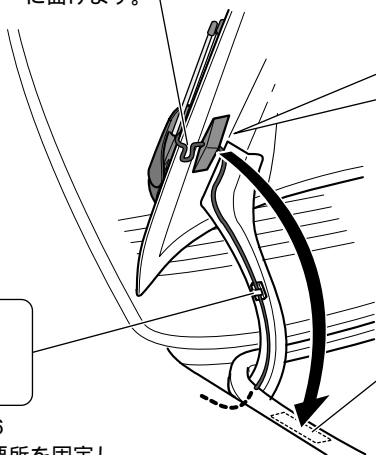
雨水がコードを伝わって車内へ入らないように、コードをゴムパッキングの外側でU字形に曲げます。

防水パッド
防水パッドの前後をクランパーで固定します。



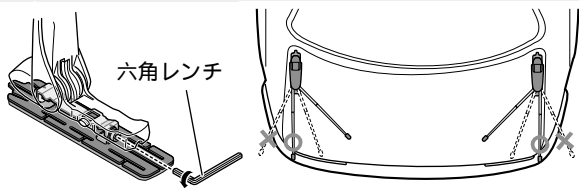
クランパー × 6
クランパーで要所を固定しながら、アンテナコードを引き回します。

トランクを開めたとき、ゴムパッキングの上に防水パッドが水平に当たるようにします。



アンテナの取り付け角度の調節のしかた

アンテナエレメントをのぼしたときに、エレメントが車幅からはみ出る場合は、アンテナベースの前後2本の六角穴付きネジをゆるめて、車幅からはみ出ないように取り付け角度を調節してください。



ゆるめたネジは、調節後しっかりと締め直してください。

TV アンテナの取り付け

つづき

車室内に取り付ける場合

⚠️ 必ずお守りください

エレメントの先端は、必ず付属のホルダーで固定してください。外れた状態でご使用になると、アンテナが脱落したり、エレメントの先端でケガをする場合があります。

設置後は、幼児のいたずらにご注意ください。思わぬケガの原因となる場合があります。

取り付け上のご注意

電波の強い地域(首都圏中心部)ではTVアンテナを車室内に取り付けられる場合があります。電波の弱い地域では車室外に取り付けてください。

車室内に取り付けた場合、車室外に取り付けた場合と比較してテレビの映りが悪くなります。テレビの映りが悪い場合はアンテナを車室外に取り付けてください。

TVアンテナの受信状態をできるだけ良くするために、下図のようにリア(リアハッチ)ガラスにTVアンテナを下向きに取り付けることをおすすめします。また、できるだけエレメントをのぼして取り付けてください。

断熱ガラスを使用した車および熱線遮断フィルムを使用した車では、その一部に電波を通しにくい種類のものがあり、受信できないことがあります。お車のガラス、フィルムの種類をお確かめください。

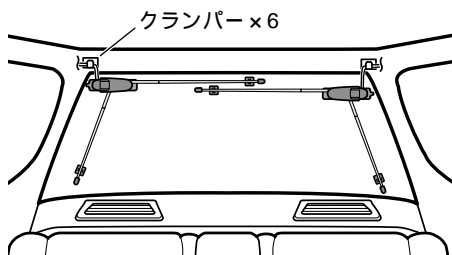
フロントガラスや運転の妨げになるガラスへ取り付けしないでください。

車のガラスの大きさや角度により取り付けができない場合があります。アンテナを取り付ける前に確認してください。

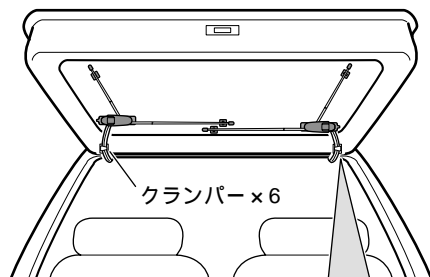
取り付けの際は、ガラスの端からアンテナエレメントまでの間隔を20mm以上あけてください。ガラスの端に近づけすぎると、テレビの映りが悪くなる場合があります。

車のラジエーターファンのモーターや、ヒーターのモーターなどからノイズが飛び込み、映像が影響を受ける場合があります。

熱線の上には貼り付けしないでください。取り外した際に、熱線が切れる場合があります。



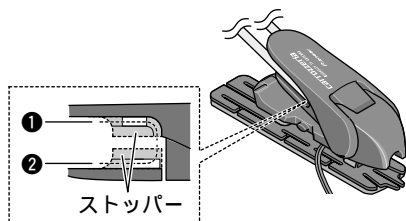
アンテナをできるだけ高い位置に取り付けると、受信感が良くなります。



ハッチの開閉の際に、ケーブルが引っ張られたりじゃまにならないように、クランパーを使用して要所を固定してください。

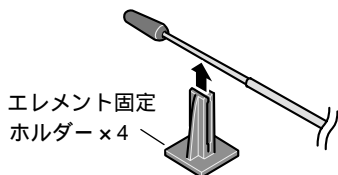
1 ストッパーを切り取る

ニッパーなどで2ヶ所 (①、②) 切断し、ストッパーを切り取ります。



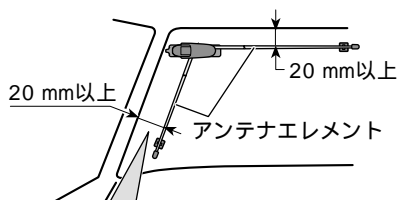
2 エレメント固定ホルダーをアンテナに取り付ける

各エレメントの先端部にエレメント固定ホルダーを取り付けます。



3 アンテナを貼り付ける位置を決める

アンテナベースとエレメント固定ホルダー裏側の保護シートをはがさずにガラス面に当て、取り付ける位置を決めます。



ガラスの端からアンテナエレメントまでの間隔を20 mm以上あけてください。ガラスの端に近づきすぎると、性能を十分に発揮できない場合があります。

4 ガラスクリーナー剤で、汚れ、油などを取り除く

- ① 付属のガラスクリーナー剤を、付属のクロスに付け、少し力を入れて拭きます。
- ② クリーナー剤が白く乾いたら、きれいなぬれた布でクリーナー剤を良くふき取ります。
- ③ きれいな乾いた布でから拭きし、水分を完全に取り除きます。

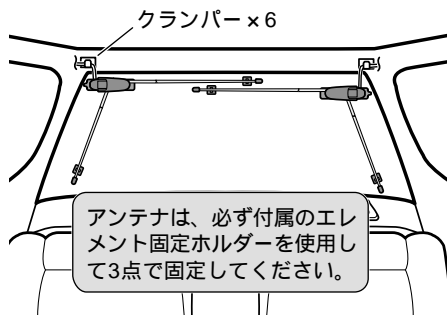


5 気温が低いときはリアガラスを暖める

接着力の低下を防ぐために、車内ヒーターやリアデフォグスイッチをONにして、リアガラスを20℃以上に暖めます。

6 アンテナを取り付ける

アンテナベースとエレメント固定ホルダー裏面の保護シートをはがし、アンテナを固定します。次に付属のクランパーを使用して、アンテナケーブルを固定します。(☞前ページ)

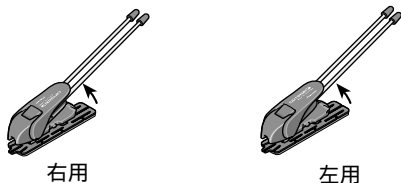


TV アンテナの取り付け

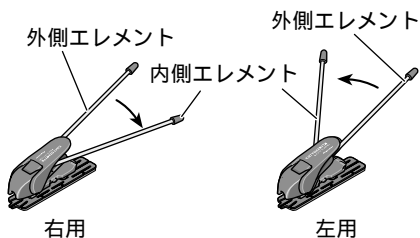
つづき

アンテナの使いかた

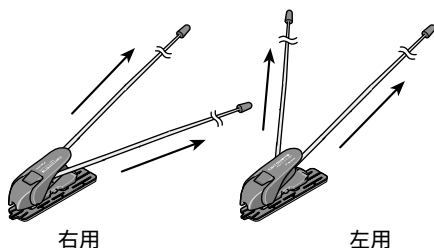
1 アンテナを 起こす



2 内側エレメントを 横にずらす

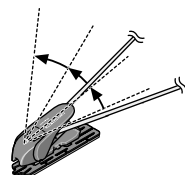


3 アンテナエレメントを いっぱいのにぼす



4 アンテナ角度を 調節する

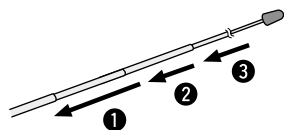
アンテナの角度は、4段階に設定できます。受信感度の良い角度に調節してください。



水平よりやや上向きに調節してください。

アンテナエレメントを収納 する際のご注意

エレメントの太い部分から順に収納してください。先端は細くなっていますので、ていねいに扱ってください。

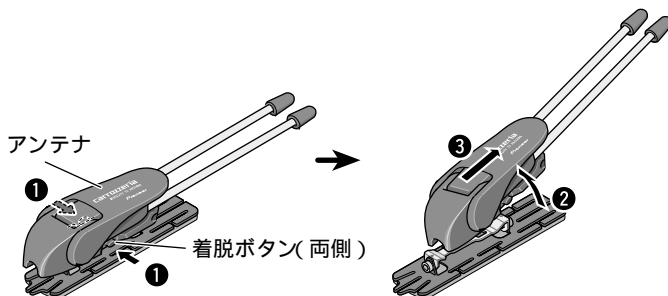


アンテナの着脱のしかた

自動洗車機で洗車するときや、長時間駐車する場合などは、アンテナを取り外し、トランク内に収納してください。

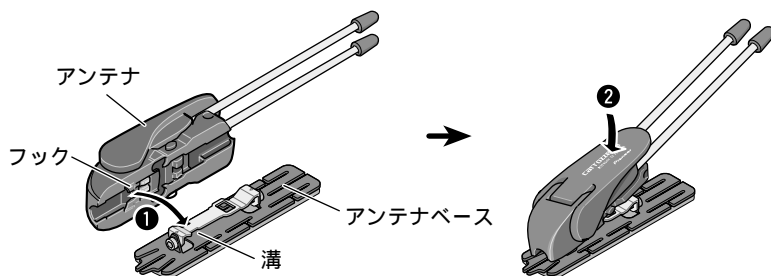
アンテナの外しかた

- 1 着脱ボタン(両側)を押しながら、
- 2 アンテナの後部を少し持ち上げ、
- 3 矢印の方向に引き抜きます。



アンテナの取り付けかた

- 1 アンテナベースの前側の溝に、アンテナの前側のフックを挿入します。
- 2 アンテナの後部を矢印方向に押し、ロックさせます。(“カチッ”と音がすることを確認してください。)



アンテナの取り扱い上のご注意

アンテナおよびアンテナコードは、ベンジンやシンナーなどの揮発性の薬品で拭かないでください。表面が侵されることがあります。

エレメントにゴミや汚れが付着し、スムーズに伸縮しなくなった場合は、ねり状ワックスなどでエレメントの金属部分をみがいでください。

アンテナのエレメントにアクセサリーなどの飾りを付けしないでください。無理な力かけると、エレメントが折れ曲がったり、アンテナが脱落する恐れがあります。

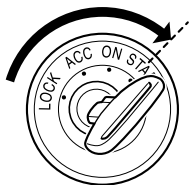
動作を確認する

接続・取り付けが終わったら、次の操作を行って、本機が正常に動作することを確認してください。

1 接続・取り付けを もう一度確認する

接続・取り付けに誤りがないか、各コネクタは確実に接続されているか、もう一度目で見て確認してください。

2 車のエンジンを かける



3 ボールペンの先などで、 リセットボタンを押す



リセットボタン

4 本機の動作を 確認する

(☞ 『取扱説明書』)